

北海道立函館中部高等学校の先生方へ



法学部 政治学科 4年
額田 千裕

(函館中部高等学校 2012年3月卒業)

拝啓

早春の候、先生方におかれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、わたしが中部高校を卒業して早いもので4年が過ぎ、中央大学での学生生活も終わりを迎える時期となってしまいました。

高校に入学したのはもう7年も前のこととなりますが、あの時を振り返ると「中部での3年間があったから今の自分がある!」と言い切れるほどに私にとっては非常に濃く、大切な日々であったと思います。

中部高校は「自主自律」「文武両道」を掲げる学校です。その精神のもと、生徒たちは一人一人が個性を生かし、自分の目標に向かって懸命に取り組んでいました。すべての学びに対して素直に向き合う仲間達の姿は私に刺激を与え、胸を熱くさせ、「自分も頑張ろう」と思わせてくれたことを今でも覚えています。

勉強、部活動ともに毎日全力で取り組んだ3年間でしたが、その中でも特に今の自分を築き上げる基盤になったものがあります。それは先生方の生徒に対する姿勢です。中部高校の先生方は決して学びを強制することはありませんでしたが、目標に向かって努力する生徒の熱い思いには全力で応えようとしてくださいました。与えられるのをただ待つのではなく、自分から動き、何かを得



ようとするのが大切なのだということを通じての先生方の姿勢から日々感じ、自分もその思いに応えようと積極的に学びに取り組むことができました。

そのような高校時代を経て進学した中央大学での4年間は、やりたいことを全力で取り組んだ毎日であったと思います。大学から始めたフランス語に興味を持ち、さらに学びたいという強い思いから初めての海外経験ながらもフランスに留学しました。高校時代から継続した弓道のサークル活動では渉外や会長の仕事を引き受け、2年間要職につくなかで試合を主催したり、留学生の受け入れに挑戦したりしました。「弾丸」で旅行に行ってみたり、他学部の講義を履修し自分の視野を専攻分野からより広げてみると、この4年間はまさに「自主自律」を実践できた日々でした。

この春私は中央大学を卒業し、「教育」の分野で社会人としての第一歩を踏み出します。先生方と同じ「教育者」として人生を進んでいくと決めたのは、中部高校の先生方が教えてくださった学ぶことの楽しさ、自分の人生を自主的に決めていく充実感、そして高校—大学を通じて実践した「自主自律」の大切さを次の世代にも伝えていきたいと思ったからです。

これからの長い社会人生活においても、自分自身が「学ぶこと」を忘れず積極的に前に突き進んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、3年次担任の荻津先生、弓道部顧問の松田先生、進路指導主事の大内先生をはじめ、中部高校の先生方には大変お世話になりましたことを心より感謝申し上げます。中部高校と先生方のこと、大好きです。中部高校に入って本当によかったです。またいつか、先生方により成長した姿をお見せすることができるよう精一杯努力したいと思います。

敬具